

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立あさひワークホーム	所管課	障害福祉課
所在地	韮崎市旭町上條南割3294	設置年月日 (改築年月日等)	昭和58年5月1日
管理方式	指定管理者(社会福祉法人山梨県障害者援護協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
設置目的	身体障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図ること。		
主な施設内容 (定員等)	主な施設内容:管理及び居住棟(1580.92㎡)(事務室、居室、食堂、会議室、浴室、厨房、静養室)、作業棟(291.12㎡)、トラックヤード、製品置き場、倉庫(63㎡) 定員:生活介護(38人)、就労移行支援(12人)、就労継続B型(30人)、施設入所支援(40人)、短期入所(5人)		
主な業務内容	施設及び設備器具の維持保全に関する業務 利用者に対するサービス業務(生活介護、就労移行支援、就労継続B型、施設入所支援、短期入所) その他知事が必要と認める業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	近隣施設 ・山梨県立あけぼの医療福祉センター:医療型障害児入所(療養介護)(80人)、児童発達支援(15人)、生活介護(15人)、短期入所(15人) ・山梨県立育精福祉センター成人寮:生活介護(105人)、施設入所支援(90人)、短期入所(9人)
---------------------	---

3 利用状況

単位:人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	生活介護		35	39	
	就労移行支援	24	14	10	
	就労継続支援B型	38	29	33	
	施設入所支援	31	39	38	
	短期入所		2	4	
	利用者数合計	93	119	124	
	目標値	100	125	125	125
目標値設定の考え方	施設の性格上、利用者数に目標値を設定することは馴染まないことから定員を目標値とする。				
対23年度比	100.0%	128.0%	133.3%	134.4%	
稼働率	93.0%	95.2%	99.0%		

4 収支状況

単位：円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	181,976,158	188,000,000	193,360,707	190,000,000
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	14,639,821	14,600,000	14,319,091	16,590,000
	収入合計(A)	196,615,979	202,600,000	207,679,798	206,590,000
支出	人件費	115,619,046	117,900,000	116,288,646	119,890,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	61,832,605	84,700,000	71,251,299	86,700,000
	(うち外部委託費)(B)	1,993,569	2,000,000	1,618,529	2,000,000
	支出合計(C)	177,451,651	202,600,000	187,539,945	206,590,000
収支差額(A - C)		19,164,328	0	20,139,853	0
外部委託比率(B ÷ C)		1.1%	1.0%	0.9%	1.0%
利用者一人当たりの経費		0	0	0	0

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成25年11月 実施方法：利用者へのアンケート 回答数：74人
-------	---

単位：%

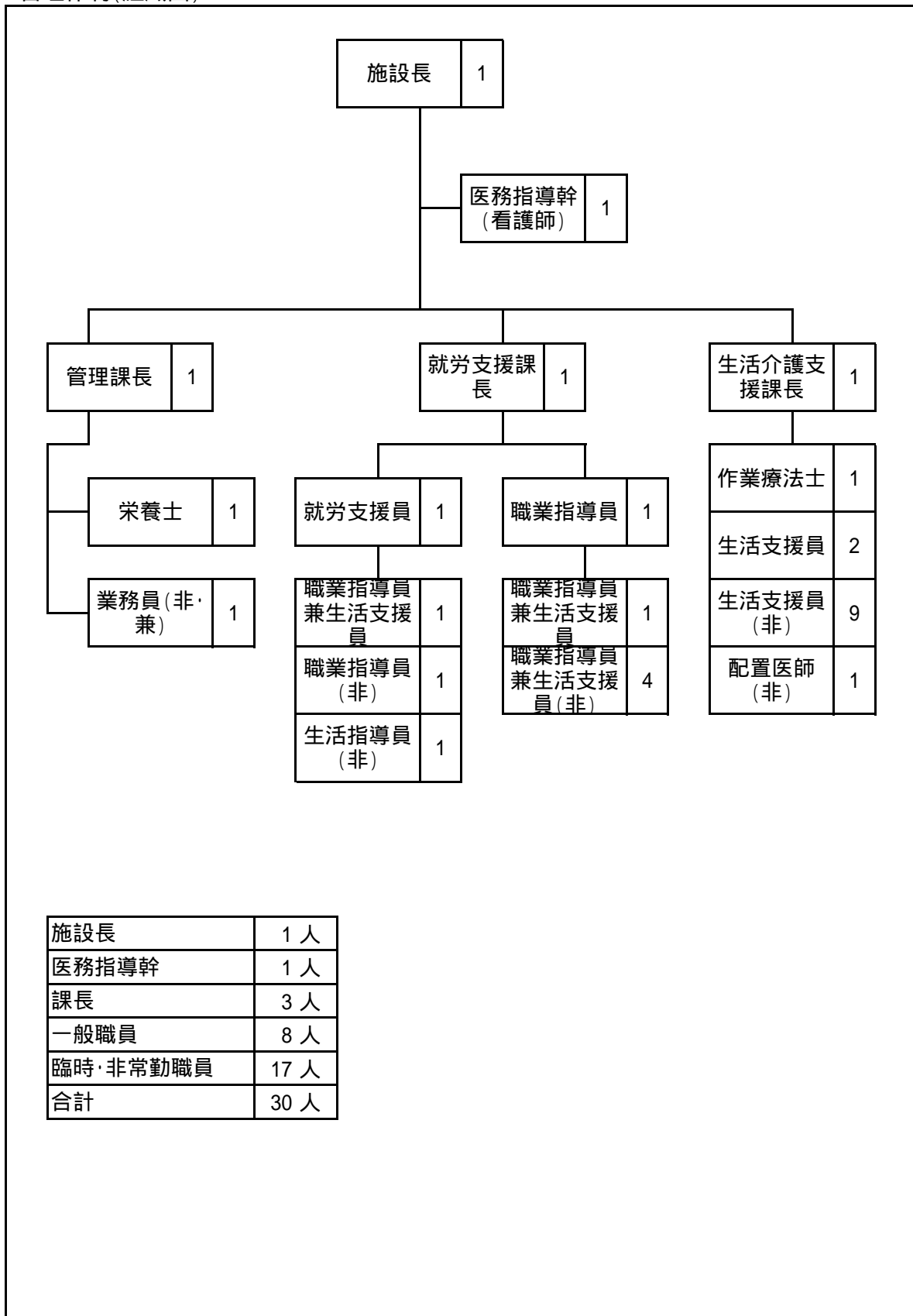
調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
施設・設備管理	93.2%	0.0%	6.8%	0.0%
行事	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食事	88.4%	0.0%	11.6%	0.0%
入浴	76.3%	0.0%	23.7%	0.0%
健康管理	90.0%	0.0%	10.0%	0.0%
利用者のケア	97.3%	0.0%	2.7%	0.0%
金銭管理	94.9%	0.0%	5.1%	0.0%
作業	91.9%	0.0%	8.1%	0.0%
各項目の平均	91.5%	0.0%	8.5%	0.0%

利用者の意見	・相部屋なので居室が狭い、個室にして欲しい。・毎年の恒例行事に加え、ゲストを招いた新年会や豪華な食事楽しめる茶話会が良かった。・食事のバリエーションをつけて欲しい。・シャワーチェアやスライドインバスを利用して快適に入浴できている。・歯科検診後に歯の治療ができて良かった。・もっと外出できる機会を増やしたい。・出金や振込み業務の代行は助かっている。
利用者の意見への対応	・利用者の障害状況等を考慮し、10名の方が単独で居室を使用している。 ・より多くの利用者が楽しめるよう創意工夫して内容を企画した。 ・利用者からの意見や要望が適切に反映できるよう、年4回の給食委員会を開催している。・利用者の介助度に合わせて、時間差による入浴支援を実施した。 ・統一した健康支援ができるよう、看護師を中心に情報の共有と知識向上に努めた。 ・サービス事業ごとに支援計画の見直し・評価を適正に行い、統一した支援ができるように努めた。・本人や家族に対し、預かり金の管理状況を定期的に確認いただいた。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。施設・設備の老朽化が目立つため、利用者の安全や利便性に留意し、保守点検及び日常業務の中で異常が確認された場合は、早急に県に報告すること。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果、概ね適正に実施されている。今後も引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力されたい。
自主事業	韮崎市と日中一時支援事業について契約を締結、利用実績はなかった。	自主事業申請(業務計画書)どおりに実施されている。
利用状況	各サービス事業の年間利用実績は、以下のとおりであり、短期入所以外のサービスは、概ね計画どおり執行ができた。 ・生活介護 103%・施設入所支援 96%・就労移行支援 79%・就労継続B型 111%・短期入所 87%	引き続き、利用状況についての情報をホームページ上で積極的にPRするなど、施設の利用促進のための広報活動に取り組み、関係機関とも連携を図りながら、安定的な運営に努められたい。
収支状況	平成24年度に導入したサービス(生活介護・短期入所)も順調で増収が図れた。一方、施設・設備の老朽化により修繕費が著しく増加した。	新たなサービスを活用して増収を図るとともに、経費削減により効率的な運営・管理が行われた。 施設・設備の老朽化に伴い、修繕費が増加することが予想されるため、今後も、計画的な修繕及び経費の節減に努力されたい。
利用者満足度	ほとんどの項目で利用者より「満足している」との回答が出ている。今後においても利用者の視点に立ったサービスの提供を心がけていく。	利用者の満足が図られており、概ね良好な結果であったが、施設の老朽化に伴う施設・設備への要望が多いことから、利用者からの要望のうち対応可能なものについては随時対応するなど、利用者の視点に立った運営に努めること。
運営目標の達成状況	個別支援計画に沿ったサービスを提供するとともに、定期的な評価・アセスメントを実施することで、利用者ニーズに合った質の高いサービスを適時に提供できた。個々の利用者の状況を把握し、必要に応じた支援を行うことにより、利用者の生活の質を向上させることができた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設の老朽化に伴う維持管理についてはその都度改善しており、施設管理・運営業務等について、条例、協定等に基づき適正に履行した。 経費削減に努めるとともに、関係機関との連携を強めるなど利用者の確保に努め、安定的に収入を確保すること。 利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努力した。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	条例、協定等に基づき適正な執行を行った。施設・設備の老朽化が目立つが、利用者の安全や利便性に留意し、随時、修繕を行った。 平成24年度から始めた通所事業の利用者確保を行うとともに経費削減に努力した。利用者満足度調査の結果を踏まえ、利用者個々のニーズに対応できるよう努力した。	

7 管理体制(組織図)



施設長	1人
医務指導幹	1人
課長	3人
一般職員	8人
臨時・非常勤職員	17人
合計	30人